

世界無形文化遺産 能楽

K a g a
H o s h o
N o h
T h e a t e r

観能 夕月への

毎週
土曜日開催
全9回

2022
7/2 |土| ▶ 8/27 |土|
17:00開演 (16:00開場 / 19:00頃終了予定)
※詳しい日程は中面をご覧ください。

通常公演
各**1,000円**
当日券同額

特別公演 8月13日
3,000円

今触れてほしい
伝統文化が
ここにある

チケットのお求め 石川県立能楽堂、石川県立音楽堂チケットボックス
(076-232-8632)、金沢能楽美術館 (076-220-2790)、
香林坊大和プレイガイド (076-220-1332)

※石川県立能楽堂以外でのチケット販売は各公演日の3日前までとなります。
※高校生以下無料。ただし、入場券が必要となります。
入場券は石川県立能楽堂でお求めください。

主催/いしかわの伝統文化活性化実行委員会

会場・お問い合わせ

石川県立能楽堂 TEL&FAX 076-264-2598
〒920-0935 金沢市石引4-18-3





日本の伝統美と 幽玄の世界に浸る 世界最古の 舞台芸術

能楽とは What's Nohgaku?

「能楽」は、継承されている演劇としては「世界最古」といわれる日本独自の舞台芸術で、「能」と「狂言」から成ります。日本で最初にユネスコ(世界無形文化遺産)に登録された世界が認める伝統芸能です。「能」では、笛や鼓による演奏と地謡と呼ばれるコーラス隊の謡にあわせて舞台上の人物が舞いながら物語を展開します。一方「狂言」は、庶民の日常生活を題材とした喜劇であり、会話を中心に物語が展開します。

加賀宝生 Kaga Hosho

江戸時代、能は幕府の式楽となり、各地の藩でも能が盛んになりました。加賀藩前田家は能の宝生流(5流派の1つ)を手厚く保護・育成し、庶民にも広く推奨したことから、今では金沢といえば「加賀宝生」と言われるほど、独自の発展を遂げています。

石川県立能楽堂

Ishikawa Prefectural Noh Theater

能楽文化の保存・継承及び振興の拠点として、昭和47年全国初の独立した公立能楽堂として開館しました。能舞台は、昭和7年に建てられた金沢能楽堂本舞台を移築したもので年月を経て落ち着いた趣に満ちています。

今年で開館50周年を迎えます。記念公演や今年だけの特別なイベントも予定しています。

石川県立能楽堂H.P.
<https://noh-theater.jp/>



公演予定

7.2 | 土 |

〈狂言〉伊文字 炭 光太郎

結婚相手を探している主人が、清水寺に参籠し、妻になってくれるという女性に出会う。しかし、その女性は歌を残して姿を消してしまう。

狂

〈能〉花月 松田 若子

春の都。7歳の子と生き別れ、出家した僧が清水寺にやってくる。花月と名乗る少年芸能者が現れて、恋の小謡、曲舞、鞆鼓など芸つくしを見せるが、やがて僧は花月こそ我が子であると覚って父子の対面を果たし、共に修行の旅に出る。

7.23 | 土 |

〈狂言〉瘦松 野村万之丞

山賊が女を脅して持っていた袋を奪い取り、中身を確認して喜んでいる隙に、女に長刀を奪われ、奪った袋だけでなく、自分が身につけているものまで剥ぎ取られる。

狂

〈能〉熊坂 渡邊 茂人

東国へ向かう途中の僧が、呼び止められた怪僧に請われるまま甲斐をすと怪僧の本性、大盗賊・熊坂長範の霊が現れ、牛若丸に返り討ちにされた様を物語る。

8.13 | 土 |

〈仕舞〉天鼓 大坪喜美雄

〈狂言〉蚊相撲 野村 万蔵

大名は、太郎冠者に新しい使用人を探しに行かせ、男を連れ帰る。その男の腕前をみるため、大名自ら相撲の相手となったところ、その男は蚊の精で、大名を刺して…。

〈能〉西王母 宝生 和英 宝生流二十代宗家 **宝生流二十代宗家がシテを務めます**

中国の帝王の前に女が現れ、三千年に一度だけ実を結ぶ桃の花を捧げると、自分は西王母の化身であり、後で真の姿を見せると告げ姿を消す。やがて、西王母は真の姿で再び現れ、桃の実を献上すると、舞を舞い天上へと飛び去っていく。

特別公演

神

7.9 | 土 |

〈狂言〉膏薬煉 中尾 史生

膏薬(皮膚疾患や湿布などに用いる貼薬)名人と自負する鎌倉と都の膏薬煉が、どちらが優れた膏薬煉か競い合う。

神

〈能〉岩船 島村 明宏

帝の命を受け、高麗や唐土の宝を集めていた勅使は、一人の童子と出会う。童子は帝への捧げ物として宝珠を捧げ、天の岩船が漕ぎ寄せてくると伝える。童子こそ岩船の漕ぎ手天の探女であった。やがて岩船を守護する龍神が現れ、天の探女と協力して岩船を引き、八大龍王の力も得て、金銀珠玉を積み上げる。

7.30 | 土 |

〈狂言〉成上り 炭 光太郎

主人と太郎冠者が鞍馬へ参詣に出かけ、眠っていたところ、騙り者が現れ、冠者が抱えていた主人の太刀を青竹にすりかえて逃げる。目を覚ました冠者は、太刀が青竹に成り上がったと主人に報告し、失態をごまかそうとする。

女

〈能〉半菰 福岡 聡子

花供養する僧の前に若い女が現れ、夕顔の花を捧げて消える。近くに住む者から光源氏と夕顔の物語を聞いた僧が女の言葉に従い五条あたりに赴くと、夕顔の霊が現れる。夕顔は光源氏との思い出を語って舞い、夜が明ける前に消えていく。

8.20 | 土 |

〈狂言〉樋の酒 能村 晶人

留守中に酒を盗み飲みする太郎冠者を軽物蔵へ、次郎冠者を酒蔵へ閉じ込めて主人は外出する。酒が飲みなくなった二人だが、軽物蔵にいる太郎冠者は飲めないで、蔵の間に樋を通し、酒を流して飲めるようにする。

狂

〈能〉通小町 広島 克栄

京都の八瀬で座禅業をする僧へ、木の実や薪を毎日届ける女がいた。その女は小野小町の霊であり、僧が吊っていると、小町に想いを寄せていた深草少将の霊が現れ…。

7.16 | 土 |

〈狂言〉苞山伏 清水 宗治

山人と山伏が昼寝をしている所に通った男が、山人の弁当を見つけ食べてしまい、山人が目覚めたため、寝た振りをする。山人は、弁当がなくなっていることに気づき、「誰が弁当を食べたのか?」と問いただす。狂言には珍しい推理劇のようなお話。

狂

〈能〉枕慈童 松本 博

魏の国。霊水が沸く山に赴いた勅使の前に慈童という仙人が現れる。慈童は七百年前、この山に流された顛末と不老不死の秘密を語り、帝に長寿を捧げ、菊水の功德を讃えて舞う。

8.6 | 土 |

〈狂言〉鐘の音 炭 哲男

主人から鎌倉へ行って金の値をきいてくるように命じられた太郎冠者は、寺々を巡り、様々な鐘の音を聞き比べ帰ってくる。

狂

〈能〉鉄輪 高橋 右任

夫に捨てられた女は恨みを晴らすべく貴船神社に丑の刻参りをす。神託に従い恨みの鬼と化した妻は夫と後妻に襲いかかるが、夫が依頼した安倍晴明に祈りされ、呪いを残して立ち去る。

8.27 | 土 |

〈狂言〉謀生種 能村 祐丞

嘘の上手な伯父に対抗しようと、甥はほら話を用意して挑むものの、敵わない。話の上手くなる秘訣は庭に埋めた「謀生の種」と言われ、甥は庭をあらちちら掘ってみるが…。

男

〈能〉田村 高橋 憲正

旅僧が清水寺で出会った童子は、坂上田村麿による清水寺建立の由来や付近の名所を語り、田村堂に消える。その夜、僧が経を読んでいると、坂上田村麿の霊が現れ、観音の助けて敵を退治した様を見せる。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、内容等が変更・中止となる場合があります。
◇【神・男・女・狂】はジャンルを記しています。ジャンルについては裏面の説明をご覧ください。

能の出演者 Performer of Noh

1 シテ 物語の主役です。演出も行います。

2 ワキ シテの相手役です。

3 後見 こうけん 舞台の監督役です。

4 地謡 じうたい 謡のうち、シテやワキのセリフ以外の情景や心情を描いた部分を担当します。

5 囃子方 はやし しかた 舞台上で楽器を演奏します。

アイ … 能の前後場の間をつなぐ狂言をアイ(間狂言)と呼びます。



5つのジャンル「神・男・女・狂・鬼」 Five genres

能の物語はおよそ200話。主人公であるシテの役柄によって大きく5つのジャンルに分類されています。

<p>神</p> <p>「西王母」</p> <p>神様を主人公とする能。世の中の平和を祝うめでたい演目が多い。</p>	<p>男</p> <p>「田村」</p> <p>男性を主人公とする能。源平の武将の霊を主人公とする演目が多い。</p>	<p>女</p> <p>「半部」</p> <p>女性を主人公とする能。貴公子や草木の精が登場するものも含む。優美な舞が見どころ。</p>	<p>狂</p> <p>「花月」</p> <p>愛する者を失い狂乱する女性や、恋に悩み死んだ亡霊などを主人公とする能。他のジャンルに含まれない様々な演目を含む。</p>	<p>鬼</p> <p>「黒塚」</p> <p>鬼や天狗などのこの世ならぬ存在が登場する能。演出が派手な演目が多く、初心者におすすめ。</p>
--	--	---	---	--

金沢能楽美術館 関連行事

「観能の夕べ プレ講座〈全3回〉」

金沢能楽会の人気能楽師が、能の見どころを分かりやすく紹介します。

(各回60分・定員40名)

参加無料(要観覧料、要申込)

第1回	第2回	第3回
7/2(土) 11:00~	7/30(土) 14:00~	8/13(土) 14:00~
講師:佐野 弘宣	講師:藪 克徳	講師:渡邊 茂人
[解説演目:7/2~7/23の能]	[解説演目:7/30、8/6の能]	[解説演目:8/13~8/27の能]

詳しくは金沢能楽美術館のホームページをご覧ください。

■お申し込み・お問い合わせ 金沢能楽美術館 金沢市広坂1丁目2番25号 TEL.076-220-2790 10:00~18:00(入館17:30まで) 月曜休館(祝日の場合は翌平日休館)

ご来場されるお客様へのお願い

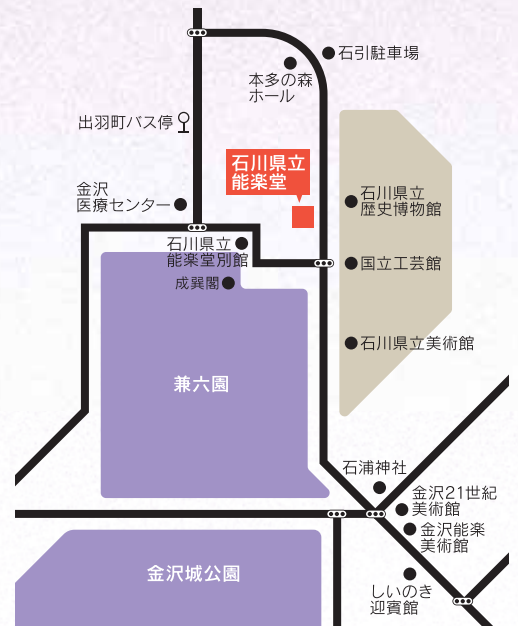
- 体調不良(発熱や咳、倦怠感など)及び感染症陽性者との濃厚接触がある方は、来場をご遠慮ください。
 - 入館の際に検温と手指消毒を行います。体温が37.5℃以上の方はご入場をお断りさせていただきます。
 - 館内では常時マスクを着用してください(マスクはご持参ください)。
 - ひざ掛けの貸出しや飲み物のサービスは中止させていただきます。
 - 出演者への面会、贈り物をご遠慮ください。
 - 万一の場合に備え、ご来場の皆様の氏名、住所、連絡先をお伺いさせていただきます。
- ※いただいた情報は、保健所などの公的機関に提供させていただく場合がございますので、予めご了承ください。
- 係員の指示及び注意事項に従わない場合、入場をお断りすることがあります。

石川県立美術館 information

加賀宝生のすべて - 能面と能装束 -

9/17(土)~10/23(日) 各地に散逸した前田家伝来の能面と能装束など80点を一堂に紹介します。

縫渡唐花蜀江模厚板唐織(国立能楽堂所蔵)



金沢駅兼六園口(東口)6番のりば 北鉄バス 出羽町バス停より徒歩3分